

扇風機及びハンディファンに関するテスト

令和7年3月

埼玉県消費生活支援センター
商品安全担当

目次

1	目的	1
2	近年の相談と事故事例.....	1
3	テストの実施期間.....	2
4	テスト品の構造と概要.....	2
	（1）扇風機テスト対象商品	2
	（2）ハンディファンテスト対象商品	4
5	テスト結果	5
	（1）表示事項の確認.....	5
	（2）構造等に関するテスト	8
	（3）運転に関するテスト	11
	（4）安全性に関するテスト	16
6	まとめ	18
7	消費者へのアドバイス.....	18

1 目的

扇風機は一般的にクーラーよりも電気代が安く、使い始めてすぐに涼しさを感じられるため、多くの家庭で使用されています。

反面、扇風機は経年劣化による事故が多い製品であることから、「長期使用製品安全表示制度(*1)」の対象品目に指定されています。

また、近年使用者が増えている携帯用扇風機（以下「ハンディファン」という。）についても、消費者庁が扱いについての注意喚起(*2)を行っています。

そこで製品の購入時や使用時に関わる注意すべき点の確認を行い、それらを周知することを目的として本テストを実施しました。

*1 「長期使用製品安全表示制度」(経済産業省 HP)

https://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/denan/long_term.html

*2 「携帯用扇風機の扱いにはご留意を！」(消費者庁 HP)

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_001/mail/20240624/

2 近年の相談と事故事例

過去にあった相談事例を表 1 に示します。製品の使用に伴う異常発熱や故障、製品の危険性に関する事例がありました。

表 1 扇風機及びハンディファンの危害・危険に関する相談事例

製品	概要
扇風機	3年位前に購入した扇風機を使用中突然羽根が割れ粉々になった。足に少し当たり切り傷を負った。
	一昨年買った扇風機を使っている。去年の夏から、 使っていると熱くなる ようになった。非常に熱く、扇風機が止まってしまうこともある。
	2年前、購入した扇風機から、パチパチという音がして 煙が出てきた 。慌ててコンセントを抜いた。スイッチはオフになっていた。自分がいたからよかったが、いなきだったら火事になっていたと思う。
	30年くらい前に購入した古い扇風機を出しコンセントを挿したまま出かけたら 発火 し家がぼやになった。毎年使い掃除して箱に入れてしまっていたものだ。
ハンディファン	購入したハンディファンを就寝中に床に置き充電を行った。数時間経過した頃に凄い臭いがし、フローリングが 焼け 、熱で本体、USBの一部が 溶けていた 。充電した状態で、長時間の外出中だったら火災になってもおかしくない。
	ハンディ扇風機を使用しない状態で机の上に置いていたら、突然、プシューと音がした。扇風機の充電機部分と思われるところから 煙が出ていて 、異臭もした。
	インターネットモールで購入した首掛け扇風機を利用したら、バッテリーを内蔵している所が熱くなり、 煙が出た 。やけどになりそうだった。
	満員電車でハンディファンを使っている人の近くにいたところ、 髪の毛が引っ張られた 。巻き込まれなくて良かったがけがになる可能性もあったと思う。

3 テストの実施期間

令和6年8月～令和7年2月

4 テスト品の構造と概要

(1)扇風機テスト対象商品

テスト対象商品（以下「テスト品」という。）には様々な仕様の扇風機を5台選定しました。具体的には回転する羽根への接触を保護するためのガードの形状・材質、高さ調節可否、モーター種類及び風速調節機能に差がある製品を選定しました。なお、生産国は全て中国でしたが、同国製を意図して選定したものではありません。製品の各部名称を図1に、テスト品の外観写真と仕様を表2に示します。

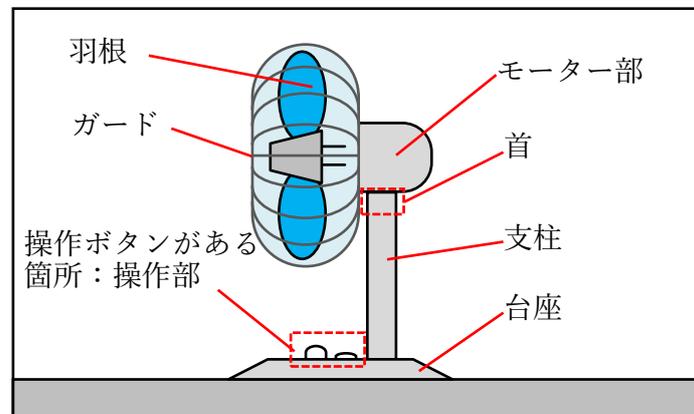


図1 扇風機各部名称（横から見た図）

表 2 テスト品一覧 (扇風機)

	製品 1	製品 2	製品 3	製品 4	製品 5
外観					
購入価格	5,781 円	4,980 円	14,800 円	6,980 円	7,980 円
生産国	中国	中国	中国	中国	中国
風量調節段階	3 段階	3 段階	6 段階	8 段階	3 段階
羽根枚数	5 枚	7 枚	7 枚	7 枚	5 枚
高さ調節	可	可	可	不可	可
モーター種類*	AC	AC	DC	DC	AC
タイマー機能	切のみ	なし	切のみ	切のみ	入、切あり
リモコン	あり	なし	あり	あり	あり
重さ	2.8kg	4.9kg	4.0kg	2.5kg	3.4kg

*モーターを動かすための電源の種別によりモーター種類は異なります。AC（交流電源）と DC（直流電源）の違いがあり、一般的に DC モーターは風量調節段階が多く、消費電力が少ない反面、販売価格は比較的高価とされています。

(2)ハンディファンテスト対象商品

様々な仕様のハンディファンを5台選定しました。小型で持ち歩ける扇風機としてネックファンのように首にかけるタイプなど様々なタイプが販売されていますが、本テストでは手で持って顔などに風を当てることができるハンディファンを選定しました。なお、製品によっては卓上に置いた状態で使用することもできる形状のものもありました。また、扇風機同様、生産国は全て中国でした。

ハンディファンの各部名称を図 2に示します。テスト品の外観写真と仕様を表 3に示します。

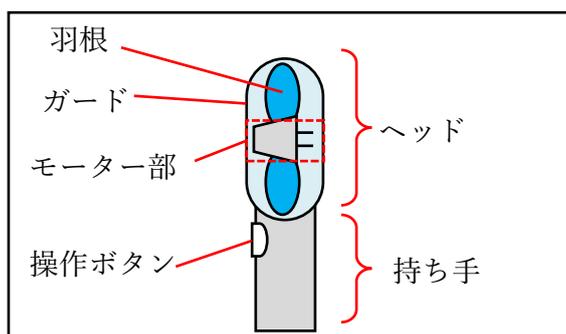


図 2 ハンディファン各部名称 (横から見た図)

表 3 テスト品一覧 (ハンディファン)

	製品 6	製品 7	製品 8	製品 9	製品 10
外観					
購入価格	2,178 円	1,480 円	3,280 円	2,178 円	2,600 円
生産国	中国	中国	中国	中国	中国
風量調節段階	3 段階	3 段階	5 段階	3 段階	3 段階
羽根枚数	6 枚	3 枚	4 枚	4 枚	5 枚
コネクタ形状	microUSB	microUSB	USB Type-C	USB Type-C	USB Type-C
電池種別 及び容量	リチウムイオン蓄電池 2000mAh	リチウムイオン充電電池 1200mAh	1400mA (電池種別の記載なし)	リチウムイオン電池 2000mAh	リチウムイオンポリマー電池 1800mAh
その他機能	ヘッドを折り曲げ卓上ファンとして使用可	付属のスタンドで卓上ファンとして使用可	電池残量表示及び付属のスタンドで卓上ファンとして使用可	LED ライト機能	ヘッドを折り曲げ卓上ファンとして使用可
重さ	170g	170g	180g	122g	135g

5 テスト結果

(1)表示事項の確認

ア 法令等に関する表示事項の確認

扇風機は電気用品安全法及び長期使用製品安全表示制度の対象であり、PSE マークや定格電圧（*）など、電気用品安全法及び長期使用製品安全表示制度で規定する事項を不足なく表示する必要があります。扇風機に必要な表示事項を表 4 に示します。

なお、ハンディファンは繰り返し充電できる充電電池で稼働していることから電気用品安全法及び長期使用製品安全表示制度の扇風機に該当しないため、対象から外しています。

*電気製品が正常に動作するように設計された電圧を指します。家庭用コンセントは100V（ボルト）なので、家庭用電気製品の定格電圧は原則として100Vです。

なお、定格電圧ですべての機能を最大限に使った場合に消費される最大消費電力を定格消費電力といいます。

表 4 必要な表示事項

	表示場所	表示する内容
電気用品安全法	本体	届出関係：PSE マーク、届出事業者 仕様：定格電圧、定格消費電力
	取扱説明書	次の趣旨を記載 ・機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を用いることを意図していない。 ・機器で子供が遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
安全表示制度 長期使用製品	本体	製造年 設計上の標準使用期間 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがある旨

表 5 に調査結果を記載します。全てのテスト品において電気用品安全法及び長期使用製品安全表示制度で必要となる表示が問題なくされていることを確認しました。また、設計上の標準使用期限については、5～10年とばらつきがありました。

表 5 表示事項の調査結果

		製品 1	製品 2	製品 3	製品 4	製品 5
電気用品安全法	PSE マークと届出事業者	○	○	○	○	○
	定格電圧	○	○	○	○	○
	定格消費電力	○	○	○	○	○
	定格周波数	○	○	○	○	○
	要補助者の単独使用* 1	○	○	○	○	○
	子供の監視* 2	○	○	○	○	○
安全表示制度 長期使用製品	製造年	○	○	○	○	○
	設計上の標準使用期限	6年	5年	10年	8年	10年
	長期使用により事故に至るおそれ* 3	○	○	○	○	○

- * 1 機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を用いることを意図していない旨の表示
- * 2 機器で子供が遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい旨の表示
- * 3 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがある旨の表示

イ 注意表示等に関する表示事項の確認

製品の使用中に想定される事故の注意喚起表示について以下 5 点の記載の有無を確認しました。

- ・指を入れることへの注意
- ・髪を近づけることへの注意
- ・運転中/充電中に布などをかぶせることへの注意
- ・異物防護ネット（*）の使用に関する注意（扇風機のみ）
- ・充電中の使用に関する注意（ハンディファンのみ）

* 扇風機の羽根ガードの上にネットを被せて指や異物が扇風機の羽根に接触するのを防ぐものです。接触を防ぐ他に、埃の付着を防止するものや装飾用のものもあります。

扇風機のテスト結果を表 6 に、ハンディファンのテスト結果を表 7 に示します。

表 6 注意表示の調査結果（扇風機）

		指を入れることへの注意	髪を近づけることへの注意	運転中に布などをかぶせることへの注意	異物防護ネットの使用に関する注意
製品 1	本体	有	無	無	無
	取扱説明書	有	有	有	有 (たるみが出ないよう装着)
製品 2	本体	有	無	無	無
	取扱説明書	有	無	有	無
製品 3	本体	有	無	無	無
	取扱説明書	有	有	有	有 (使用不可)
製品 4	本体	有	無	無	無
	取扱説明書	有	無	無	有 (使用不可)
製品 5	本体	有	無	無	無
	取扱説明書	有	無	無	無
結果まとめ		全てのテスト品の本体及び取扱説明書に注意表示があった。	2製品の取扱説明書に記載があった。	3製品の取扱説明書に記載があった。	3製品の取扱説明書に記載があったものの、記載内容には差異が認められた。

表 7 注意表示の調査結果（ハンディファン）

		指を入れることへの注意	髪を近づけることへの注意	運転中/充電中に布などをかぶせることへの注意	充電中の使用に関する注意 (ハンディファンのみ)
製品 6	本体	有	無	無	無
	取扱説明書	有	有	有	有 (バッテリーの寿命が短くなる)
製品 7	本体	有	有	無	無
	取扱説明書	有	有	無	有 (使用不可)
製品 8	本体	無	無	無	無
	取扱説明書	有	有	有	無
製品 9	本体	無	無	無	無
	取扱説明書	有	有	有	有 (使用可能)
製品 10	本体	無	無	無	無
	取扱説明書	無	有	有	有 (バッテリーの寿命が短くなる)
結果まとめ		2製品の本体に記載があり、4製品の取扱説明書に記載があった。	1製品の本体に記載があり、全ての製品の取扱説明書に記載があった。	4製品の取扱説明書に記載があった。	4製品の取扱説明書に記載があったものの、記載内容には差異が認められた。

テストの結果、扇風機のテスト品全ての製品本体及び取扱説明書に指を入れることへの注意書きを確認しました。その他の注意表示は製品によって記載の有無に差異があることを確認しました。

ハンディファンでは製品10を除き、指を入れることへの注意書きは本体と取扱説明書のいずれか又は両方にあること、また、髪を近づけることへの注意書きはすべての製品で本体か取扱説明書のいずれか又は両方にあることが分かりました。その他の注意表示は製品によって記載の有無に差異があることを確認しました。

(2)構造等に関するテスト

ア 転倒しやすさのテスト

扇風機やハンディファンは転倒等の衝撃により羽根が割れて周囲に飛散したり、ハンディファンのバッテリーの発熱・発火等、重大な事故につながるおそれがあります。

JIS(*)にはいかなる支柱の高さや首の方向、器体の向きであっても10度に傾けて転倒しないことを定めた規定があることから、テスト品に対してこの試験を行いました。

(*) 日本産業規格の略称。多くの産業製品に関する規格や測定法などを定めた規格。扇風機の構造は「JIS C9601」という規格番号で定められています。

なお、ハンディファンには転倒に関する規格はありませんでしたが、製品に付属する台座にセットすることで自立する製品7, 8に対し同様の試験を行いました。テストの方法を図3に示します。

テストの結果、すべてのテスト品で転倒しないことを確認しました。

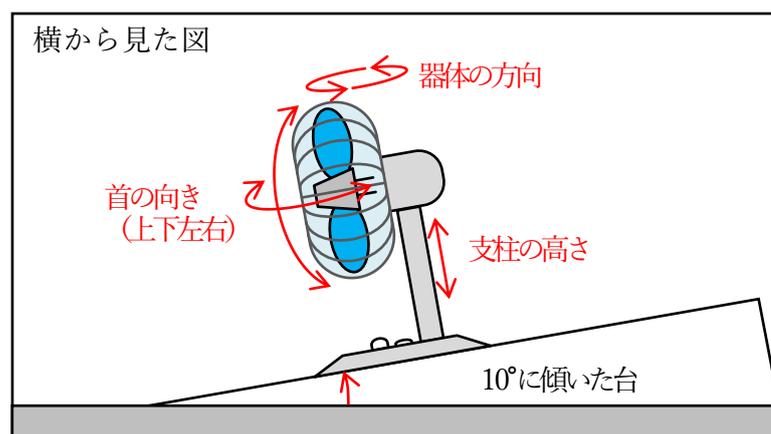


図 3 転倒しやすさのテスト方法

イ ガードの隙間に関するテスト

扇風機やハンディファンには高速回転する羽根への接触や外部からの衝撃を防ぐ等の目的でガードがあり、このことは「容易に触れるおそれがないように適当な保護枠又は保護網などを付けていること。」と JIS でも定められています。ただし、ガードの具体的な仕様や寸法に関する記載はありません。

テストではこどもの指を想定した模擬指として六角形の鉛筆を用いました。この鉛筆は表 8 に示す「乳幼児の手指の大きさ」の 1 歳までの第 5 指（小指）の厚さ及び幅の平均値と近似しています。鉛筆と指の相関を図 4 に示します。

この模擬指を扇風機のガードのあらゆる隙間に様々な方向から押し込み、隙間に挿入できるかをテストしました。テスト結果を表 9 に示します。

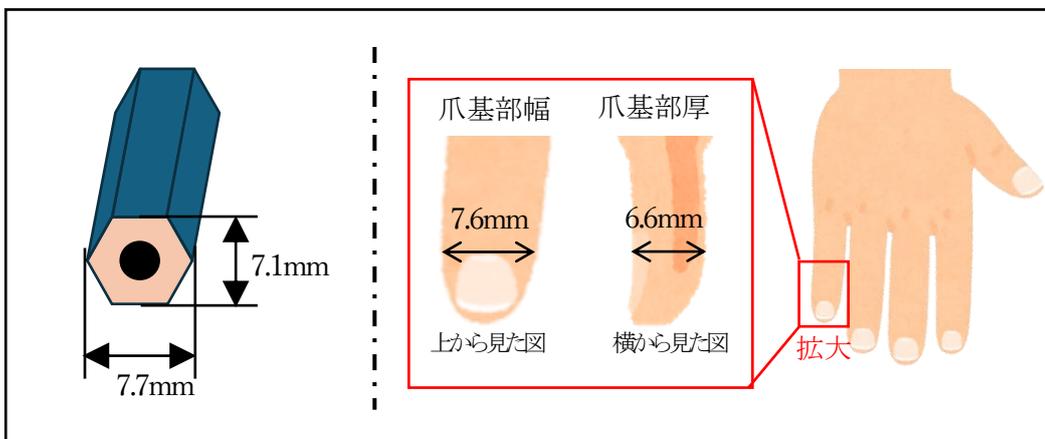


図 4 テストに用いた鉛筆と乳幼児（1歳）の小指の大きさ

表 8 乳幼児の手指の大きさ

部位		満年齢	調査人数	平均値 (mm)
第2指 (人差し指)	爪基部 厚	7～12か月	31	6.7
		1歳	151	7
		2歳	150	7.4
	爪基部 幅	7～12か月	31	8.2
		1歳	151	8.7
		2歳	150	9.1
第5指 (小指)	爪基部 厚	7～12か月	30	6.3
		1歳	151	6.6
		2歳	150	7
	爪基部 幅	7～12か月	30	7.4
		1歳	151	7.6
		2歳	150	8

出典：平成 20 年度 機械製品の安全性向上のための子どもの身体特性データベースの構築及び人体損傷状況の可視化シミュレーション技術の調査研究報告書
(社団法人 日本機械工業連合会、社団法人 人間生活工学研究センター)

表 9 ガード隙間の調査結果

模擬指の 挿入	扇風機				
	製品 1	製品 2	製品 3	製品 4	製品 5
	できる (前面、側面)	できる (背面)	できる (前面)	できる (前面、側面)	できる (前面、側面)
	ハンディファン				
	製品 6	製品 7	製品 8	製品 9	製品 10
	できない	できない	できる (前面)	できない	できる (前面)

テストの結果、すべての扇風機のテスト品が、ガードの隙間に模擬指を挿入することができる構造でした。このことから、表5で確認を行った、要補助者の単独使用及び子供の監視についての注意書きは重要であると考えられます。

一方、ハンディファンは模擬指が入る製品と入らない製品があることが分かりました。このことからハンディファンの一部の製品も乳幼児の手指が製品内部に入る可能性があることが分かりました。

以上から表 4で示した「子供を含む要補助者の単独使用を想定していない旨」及び「機器で子供が遊ぶことがないよう監視する旨」の注意書きは扇風機だけでなくハンディファンにおいても重要性が高いと考えられます。

(3) 運転に関するテスト

ア 風速の調査

テスト品はすべて風量調節ができるため、最も小さな風量から順番に1, 2, 3…と強め、各風量に対応する風速の測定を行いました。テストイメージを図5に、テスト結果一覧を表10に示します。

テストの結果、扇風機及びハンディファンの風速はいずれも最大5m/s（メートル毎秒）程度であることがわかりました。

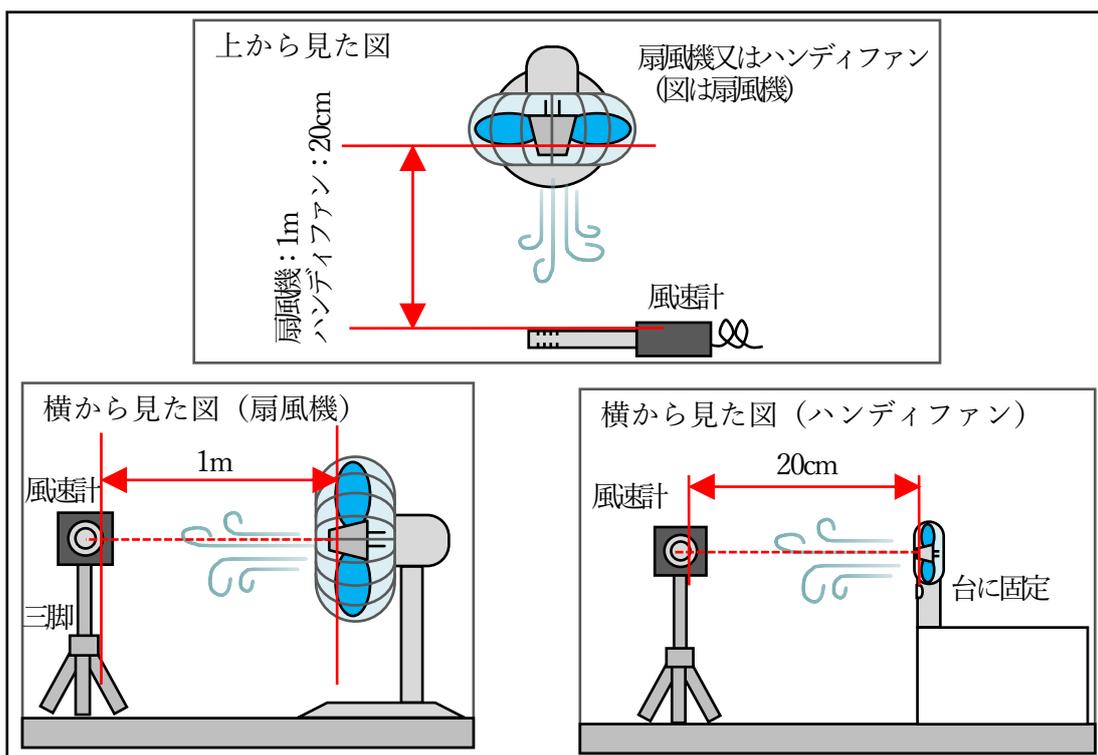


図5 風速の測定方法

表10 風速の調査結果

		製品 No.									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
風量設定	1	1.66	2.13	1.59	0.55	1.42	2.66	2.28	2.92	2.22	1.55
	2	2.06	2.71	2.57	1.18	2.36	4.13	3.55	4.04	3.26	2.80
	3	2.63	4.51	3.09	1.67	3.76	5.00	4.57	4.62	4.42	4.13
	4	-	-	3.87	1.88	-	-	-	5.18	-	-
	5	-	-	4.57	2.32	-	-	-	5.58	-	-
	6	-	-	4.75	2.88	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	4.49	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	4.92	-	-	-	-	-	-

単位：m/s

イ 騒音の調査

テスト品の風量設定を表 11 で示す弱中強の3種で騒音の測定を行いました。テストイメージを図 6 に、テスト結果一覧を表 12 に示します。なお、使用した騒音計はテスト品からの風の影響を受けてしまうことから、背面及び側面の測定を行いました。これは「JIS C 9613 ヘヤドライヤ」で定めた騒音の測定方法を参考にしたものです。

テストの結果、機種により大きく差があることがわかりました。騒音が最も大きいものは60dBで、これはファミリーレストランの店内と同程度の騒音でしたが、個別の騒音の程度の違いははっきりと感じ取れるものでした。

(参考：全国環境研会誌 Vol. 34 No. 4 (2009)「騒音の目安」作成調査結果について (騒音調査小委員会) https://tenbou.nies.go.jp/science/institute/region/journal/JELA_3404022_2009.pdf)

表 11 テスト品の風量設定

		製品 No.										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
風量設定	1	弱	弱	弱	弱	弱	弱	弱	弱	弱	弱	弱
	2	中	中			中	中	中		中	中	
	3	強	強			強	強	強	中	強	強	
	4	-	-	中		-	-	-		-	-	
	5	-	-		中	-	-	-	強	-	-	
	6	-	-	強		-	-	-	-	-	-	
	7	-	-	-		-	-	-	-	-	-	
	8	-	-	-	強	-	-	-	-	-	-	

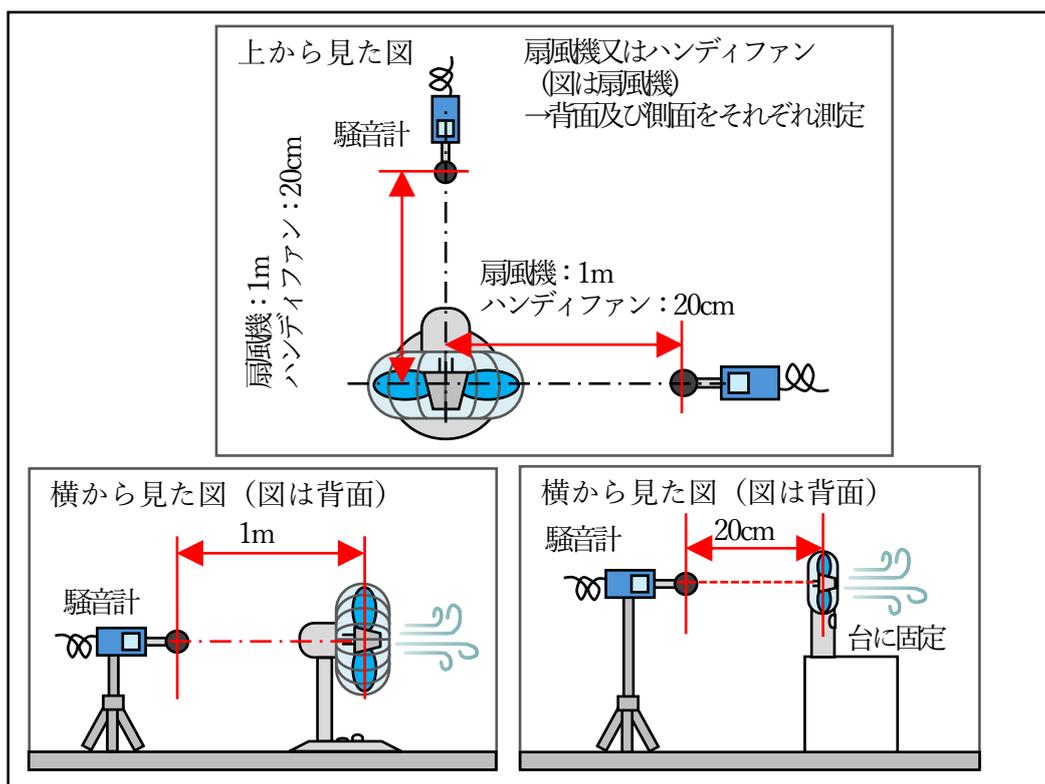


図 6 騒音の測定方法

表 1 2 騒音の調査結果

		製品 No.										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
風量設定	運転前 (暗騒音)	25.9	25.8	25.1	25.1	25.2	24.6	24.9	25.0	25.5	24.9	
	弱	側面	30.4	29.8	27.1	26.1	29.7	39.2	40.9	38.2	36.0	41.4
		背面	32.5	28.8	27.2	26.2	28.9	47.7	46.4	37.8	36.3	41.7
	中	側面	34.4	32.8	41.5	32.3	41.9	48.2	45.4	46.2	43.7	49.5
		背面	36.7	32.4	41.9	33.2	44.0	56.7	49.7	46.1	43.1	48.7
	強	側面	42.5	43.4	47.4	49.6	49.5	53.5	50.2	52.4	51.0	55.0
背面		44.6	44.0	48.6	50.9	52.0	60.3	55.4	52.7	50.2	59.3	

単位 : dB (デシベル)

ウ 消費電力の調査

テスト品の消費電力の調査を行いました。電源装置に接続されたパワーハイテスターを用いて消費電力を調査しました。なお、ハンディファンは繰り返し充電できる充電電池で稼働しています。当センターではそのようなハンディファンの正味の消費電力を測定することはできないため、調査対象外としました。

調査で使用したパワーハイテスターを図 7 に、テスト結果一覧を表 1 3 に示します。

テストの結果、最大風量時の消費電力を比較したところ、製品により消費電力が大きく異なることがわかりました。最も消費電力が多いのは製品 5 で、最少である製品 3 の 2 倍以上の消費電力がありました。

なお、AC モーターの製品（1， 2， 5）は、DC モーターの製品（3， 4）と比較して消費電力が大きい傾向が見て取れたため、「エ 風速と消費電力・騒音の関係の考察」において風速と消費電力の関係を確認しました。



図 7 調査に用いたパワーハイテスター

表 1 3 消費電力の調査結果

		製品 No.				
		1	2	3	4	5
風量設定	1	27.89	20.91	3.01	0.90	26.32
	2	30.41	23.25	6.24	1.26	36.56
	3	35.36	28.48	8.98	1.97	45.97
	4	-	-	12.02	2.30	-
	5	-	-	18.51	3.58	-
	6	-	-	20.53	6.42	-
	7	-	-	-	15.45	-
	8	-	-	-	21.13	-
定格消費電力		38	28	25	21	44
モーター種類		AC	AC	DC	DC	AC

単位：W（ワット）

エ 風速と消費電力・騒音の関係の考察

テスト品の風速と消費電力の関係を表したグラフを図 8 に、テスト品の風速と騒音の関係を表したグラフを図 9 に示します。

図 8 から、扇風機のモーターの種類は消費電力に相関があり、AC モーターの製品は、DC モーターの製品と比較して消費電力が大きい傾向があることが分かりました。例えば、同等の風量である製品 1 (AC モーター) の風量 3 と製品 3 (DC モーター) の風量 2 を比較すると、消費電力は製品 1 が約 35W、製品 3 が約 6W であり、消費電力に約 6 倍の開きがあることが分かります。これは、AC モーターと DC モーターの構造の違いによるものと考えられます。

一方、図 9 から、モーターの種類や羽根の枚数と騒音との関係性の有無は分かりませんでした。

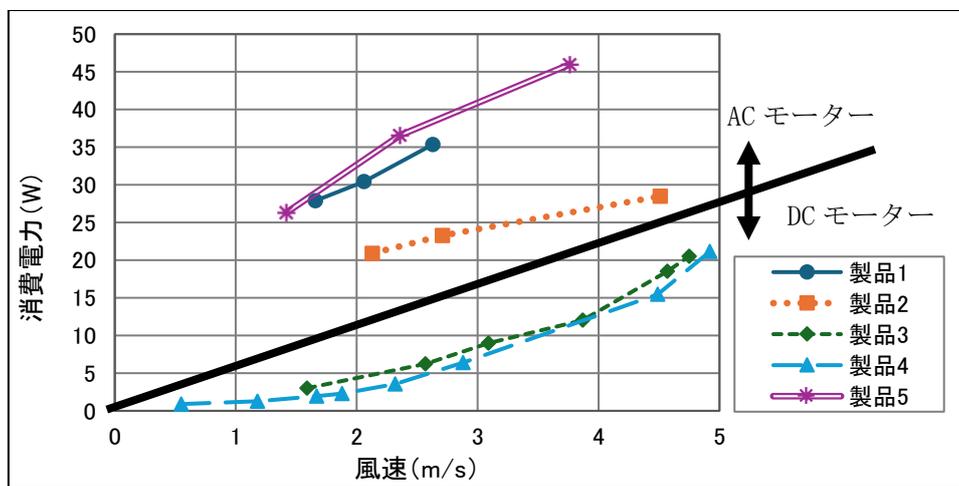


図 8 テスト品の風速と消費電力の関係

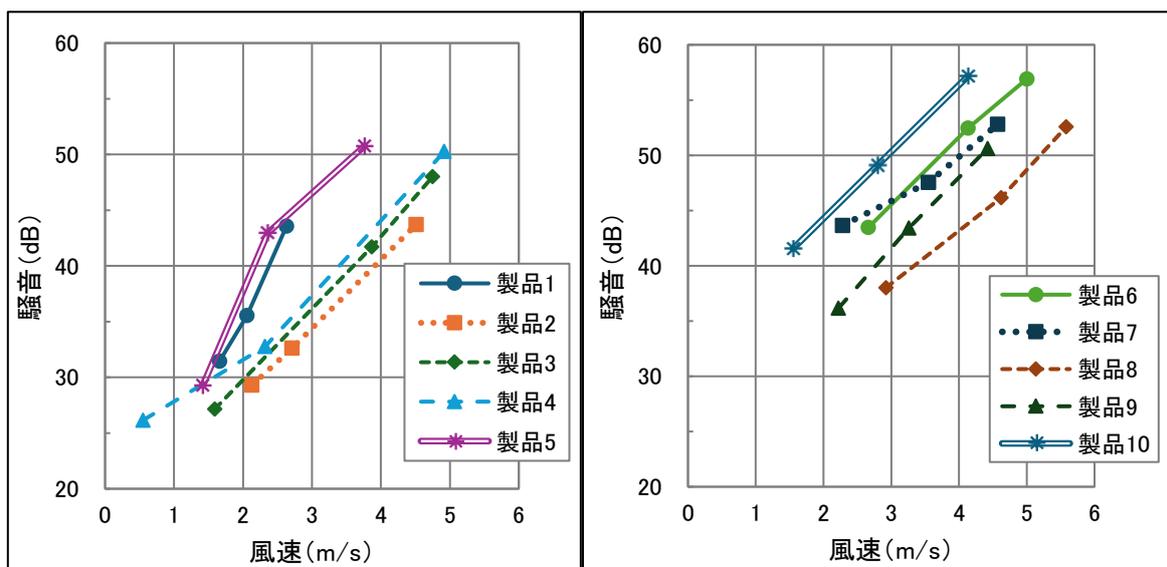


図 9 風速と騒音の関係 (左：扇風機、右：ハンディファン)

(4)安全性に関するテスト

ア 髪の毛の吸込み距離の調査

扇風機やハンディファンは羽根を回して風を送り出す仕組み上、裏面は空気を吸い込んでいることから、髪の毛などの異物を吸込んで事故が発生する危険性があります。これは「1 目的」に記載した「携帯用扇風機の扱いにはご留意を！」（消費者庁HP）の注意喚起にもあるとおりです。

そこで、テスト品が髪の毛を吸込む距離の調査を行いました。毛髪は人毛製のウィッグの毛を用いて調査を実施しました。テストの実施状況を図 10、図 11 に、テスト結果を表 14、図 12 に示します。なお、弱中強の風量設定は表 11 のとおりです。

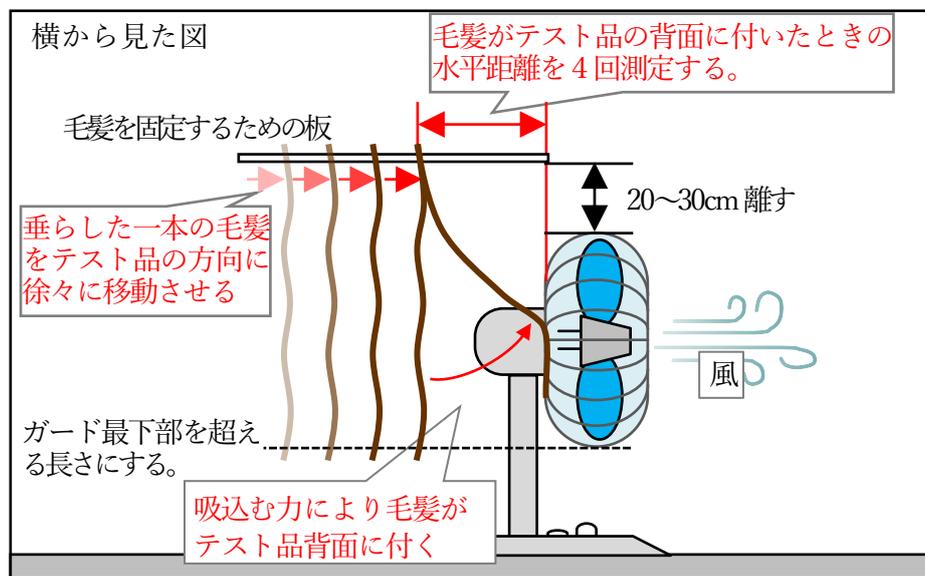


図 10 髪の毛を吸込む距離の調査方法（扇風機）

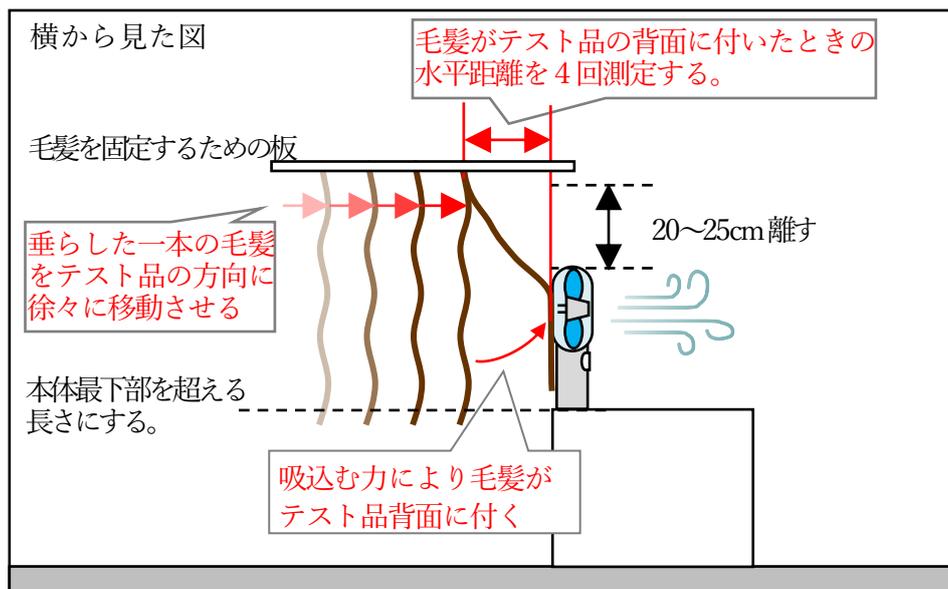


図 11 髪の毛を吸込む距離の調査方法（ハンディファン）

表 1 4 髪のを吸込む距離の調査結果

		製品 No.									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
平均値 4回測定	弱	23.8	18.0	16.3	8.3	32.3	7.0	5.8	6.3	2.0	4.3
	中	28.3	21.5	38.3	23.8	41.5	8.0	7.5	9.3	4.0	6.5
	強	35.0	35.0	40.5	36.8	47.5	11.5	9.3	11.5	6.0	9.3

単位：cm

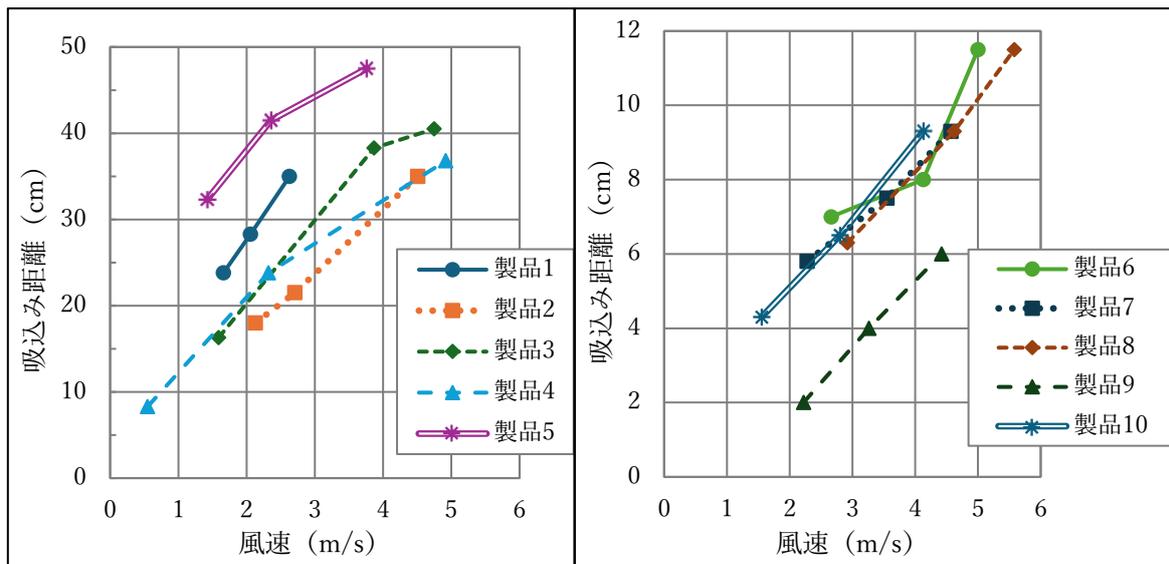


図 1 2 髪のを吸込む距離と風速との関係 (左：扇風機、右：ハンディファン)

テストの結果、扇風機の吸込み距離は最大で50cm弱であることが分かりました。また、機種によっては最小風量であっても吸込み距離が30cmを超えるものがありました。

一方、ハンディファンの吸込み距離は最大で12cm弱であり、最小風量での吸込み距離は7cm程度でした。

6 まとめ

本テストでは、扇風機とハンディファンについて、表示事項、構造、性能、安全性に関する項目を調査しました。その結果、以下の点が明らかになりました。

- ・表示事項について：すべてのテスト品は、電気用品安全法および長期使用製品安全表示制度で定められた表示を満たしていました。また、指を入れることへの注意書きはハンディファンの1製品を除き本体又は取扱説明書に記載されていましたが、その他本テストが想定した事故防止のための注意書きは製品によって記載内容に差異がありました。
- ・構造について：転倒しやすさのテストでは、試験を行ったすべてのテスト品で転倒しないことを確認しました。ガードの隙間に関するテストでは、すべての扇風機と一部のハンディファンで、乳幼児の手指がガードをすり抜ける可能性があることがわかりました。
- ・性能について：風速は、扇風機とハンディファンともに最大で5m/s程度でした。騒音の大きさは機種により大きく差があり、騒音が最も大きいもので60dBを超える製品もありました。消費電力については、ACモーター搭載の扇風機はDCモーター搭載の扇風機に比べて消費電力が大きい傾向があることがわかりました。
- ・安全性について：扇風機が髪の毛を吸込む距離は最大で約50cm、ハンディファンは約12cmであり、いずれも髪の毛が巻き込まれる可能性があることがわかりました。

7 消費者へのアドバイス

- ・扇風機やハンディファンのガードの隙間は、乳幼児の手指が入る可能性があります。乳幼児が近づかないようにしたり、大人の監視のもと使用するようにしましょう。
- ・扇風機やハンディファンが空気を引き込む力は思っているよりも強く、髪の毛が羽根に巻き込まれるおそれがあります。長い髪の人や、混雑時に使用する場合は特に注意しましょう。
- ・扇風機やハンディファンは、経年劣化により発火や故障が起こりやすくなります。定期的に点検を行い異常がないか確認しましょう。
- ・扇風機やハンディファンの運転中や充電中は布などをかけたり、覆ったりしないようにしましょう。布などの異物を巻き込んだり、異常発熱を招くおそれがあります。
- ・扇風機やハンディファンは高速回転する羽根や、衝撃等により発火するおそれのあるリチウムイオン電池などを内蔵しており、思わぬけがや事故を招くおそれがあります。ていねいに取り扱いましょう。
- ・扇風機やハンディファンは、取扱説明書をよく読み、正しく安全な方法で使用するようにしましょう。